

令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「イルビッド・パレスチナ難民キャンプ内診療所医療機材整備計画」贈与契約書署名式典

2022年3月2日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施される「イルビッド・パレスチナ難民キャンプ内診療所医療機材整備計画」のための92,513米ドルの贈与契約署名式典が、在ヨルダン日本大使館で実施されました。

本計画は、1991年の設立以来、母子家庭を中心にヨルダン人貧困層及びパレスチナ難民へ医療、教育、財政面での支援を行ってきた実績のあるNGO「ファルーク孤児支援協会」に対し、同団体がイルビッド・パレスチナ難民キャンプ内で運営する診療所の医療機材（レントゲン機器、超音波機器、血液分析器）の整備を支援するものです。本計画により、同団体はパレスチナ難民を始めとする貧困層の患者に対する迅速で正確な診療が可能となり、同キャンプ住民への医療サービスの質の向上及び健康増進に寄与することが期待されています。

同式典では、嶋崎大使及びフセイン・ファエズ・ファルーク孤児支援協会代表が贈与契約書に署名し、式典出席者からは草の根無償やJICAの青年海外協力隊事業を始めとするこれまでの日本の支援に対し、感謝の言葉が述べられました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計151件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。

